

志国高知幕末維新博に向けて

吉村虎太郎邸・片岡別荘をサテライトに、奥四万十博を母体とした観光クラスター協議会、文化財保護審議会等、町内関係者の意見を聞き進めていく。10月と11月を津野町歴史月間とし「津野氏と片岡家」中世の継承と近代の偉人」と題した企画展を開催。247名の来館者があった。10月には高知城副館長・横山氏による「津野氏と姫野々城」と題した講演会を開催。城跡からの出土品など様々な資料で裏付けされた津野氏と姫野々城の概要についてご講演をいただいた。11月には8地区において津野山古式神楽が奉納され、例年以上に町内外から見学者が多く訪れ津野町の歴史・文化に触れていた。

学力向上対策について

4月に実施した全国学力・学習調査において小学校では、国語A・B算数A・

B共に全国トップ県の平均より高い数値を出している。中学校は国語Aが全国平均より高く、国語B数学A・Bは全国平均より低い位置にある。各学校で細かな分析を行い、その課題解決に向け全教職員で個々に応じた学習支援を実施。4年目となる学力向上対策については、学力・学習調査の課題が明らかにされたことを受け、主体的・対話的で深い学びのある問題解決型の授業づくりに向けた授業の改善や加力指導等、西留先生より直接指導・助言を受け継続的に取り組んでいる。



西留先生の教員指導状況

傍聴記

津野町北川 上岡和博

議会の一般質問には、町政の動きや議員さんの活躍振りを少しでも知りたいとの思いから都合のつく限り傍聴しています。しかしながら毎回傍聴者は数人であり寂しい限りです。何とかもっと多くの人々に感心を持ってほしいと思います。

傍聴して気づくことは、活気のないことです。繰り返し返しの質問が多いことと、聴き取り難い応答があること、総じて審議が形骸化しているように思えます。このことが住民が議会に魅力を感じない理由ではないでしょうか。町議会の傍聴は一番身近な政治参加であり、議員の方々の活動が間近で見られ、また税金の使われ方等を知る良い機会です。

昨年選挙権が18歳に引き下げられたこともあり、

若者に、もっと政治に感心を持ってほしいものです。議会開催については町内放送で案内されていますが、気密性の高い最近の家では聞きづらい事もあります。議会中は庁舎の玄関に傍聴を呼びかける掲示をしてみるのも一案ではないでしょうか。

民が自分の町のあり方に感心を持てる様な新しい発想で議会が運営されるよう、町長、議員、執行部の方々の活躍に期待します。3月からは奥四万十博に続いて幕末維新博が始まります。吉村虎太郎のアピールと共に自然を生かした観光策を計り、津野町に多くの観光客に来ていただきたいものです。



12月定例会(土曜議会)本庁議場